

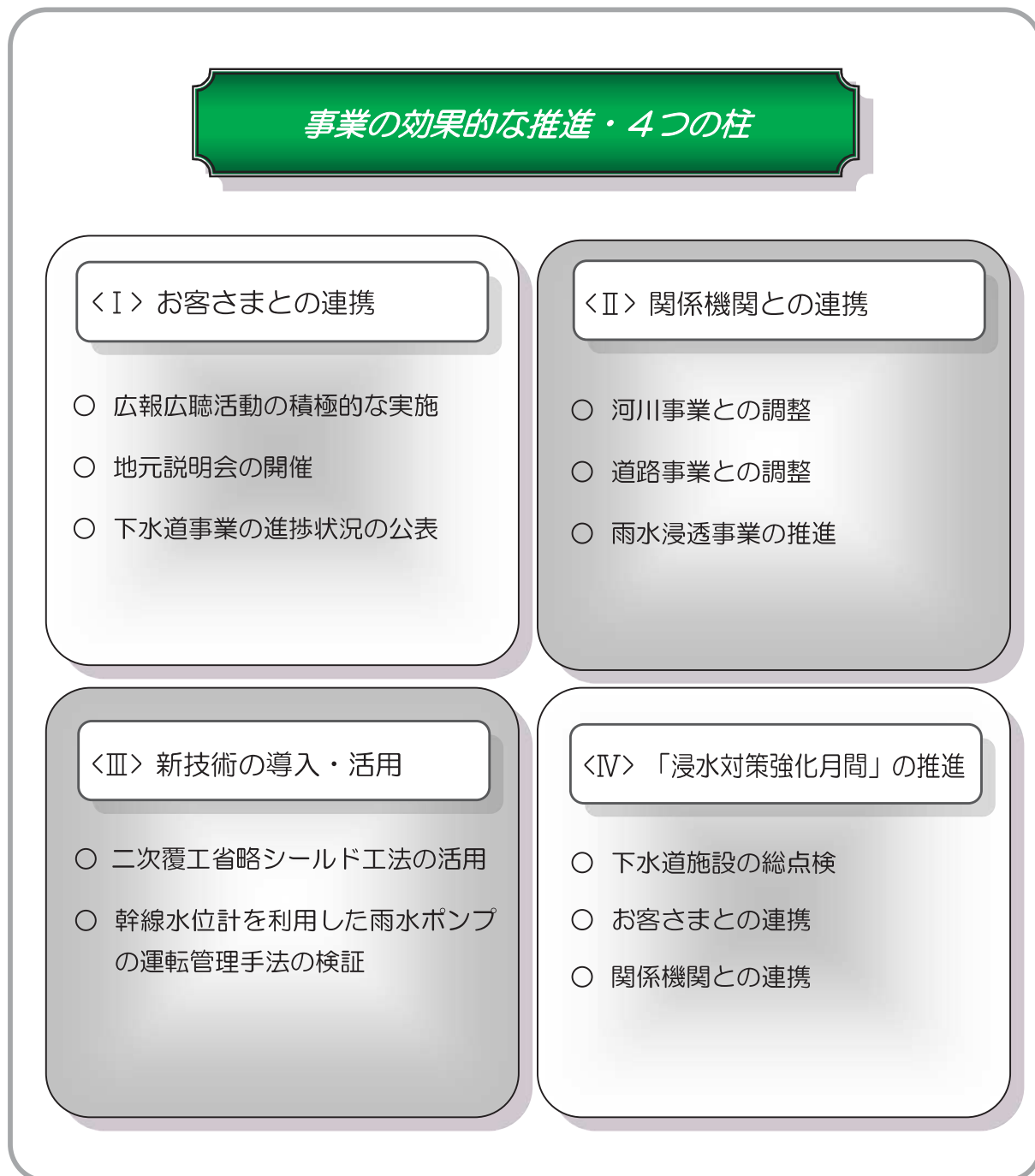
第4章 事業の効果的な推進に向けて

第4章 事業の効果的な推進に向けて

新クイックプランに示した、「ハード対策」「ソフト対策」を着実に進め、お客さまが実感できる浸水被害の軽減効果を短期間であげるためには、事業を効果的に推進していかなければならない。

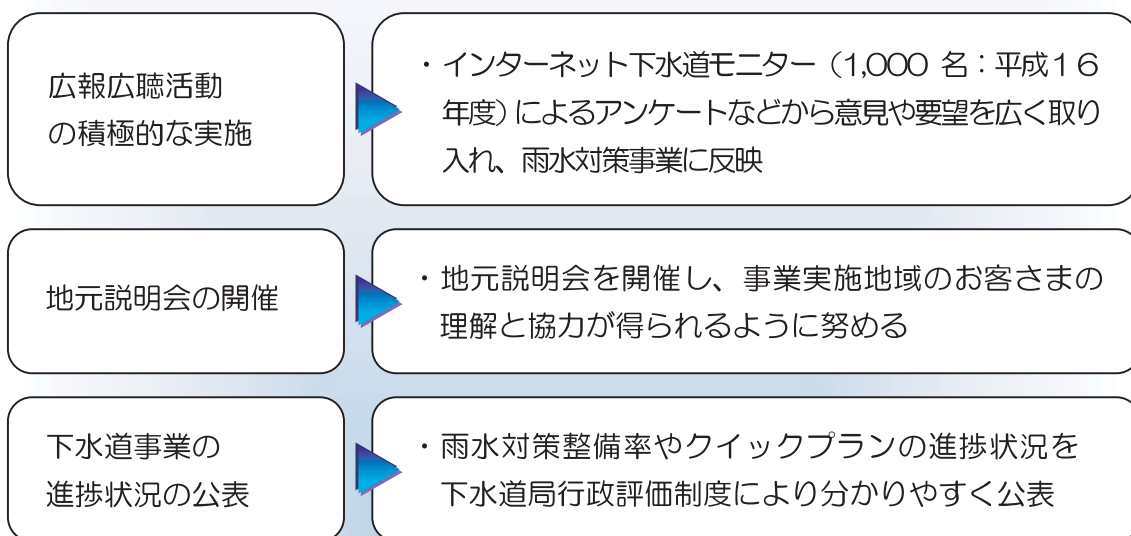
そこで、「お客さまとの連携」「関係機関との連携」「新技術の導入・活用」「浸水対策強化月間の推進」の4つの柱とし、以下に示す取組（図4-1参照）を実施していく。

図4-1 事業の効果的な推進・4つの柱



1 お客さまとの連携

お客さまとのコミュニケーションを充実させ、雨水対策事業を円滑に推進する。



インターネット下水道モニターアンケート（平成15年度版）より 一部抜粋

第7回アンケート回答者 225名（総数 297名のうち76%）

問4 浸水の被害を減らすために以下のような対策を行っています。今後、優先的に事業を進める必要があると思われる対策はどれだと思いますか。該当する項目を一つだけ選んでください。	回答数	構成比 (%)
<input type="radio"/> 低地や地下街などの浸水危険地域を重点的に改善する。	72	32.0
<input type="radio"/> 下水道施設の整備水準を超える集中豪雨にも対応できるように、下水道管の増設やポンプ能力を向上する。	57	25.3
<input type="radio"/> 雨水を道路や地面に浸透させて下水道に入る雨水を減少させる。	95	42.2
<input type="radio"/> その他	1	0.5

下水道局行政評価（平成14年度版）より 一部抜粋

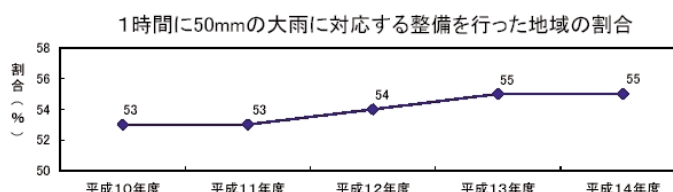
〈政策指標〉

実績 (平成14年度)	目標 (平成15年度)	1時間に50mmの大雨に対応するために、下水道を整備した割合 (%)
55	59	

○指標の説明

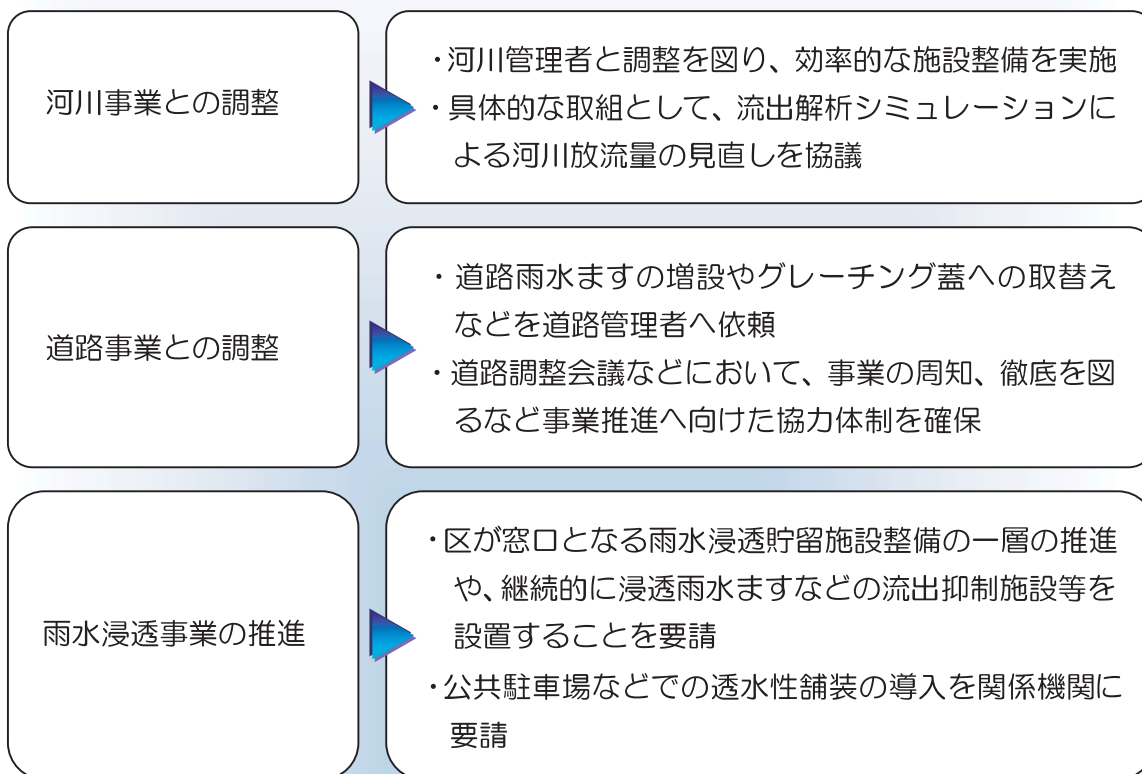
1時間に50mmの大雨(3年に1回程度)に対応するために、下水道を整備した面積の区部全域に対する割合 (%)です。

○指標の推移



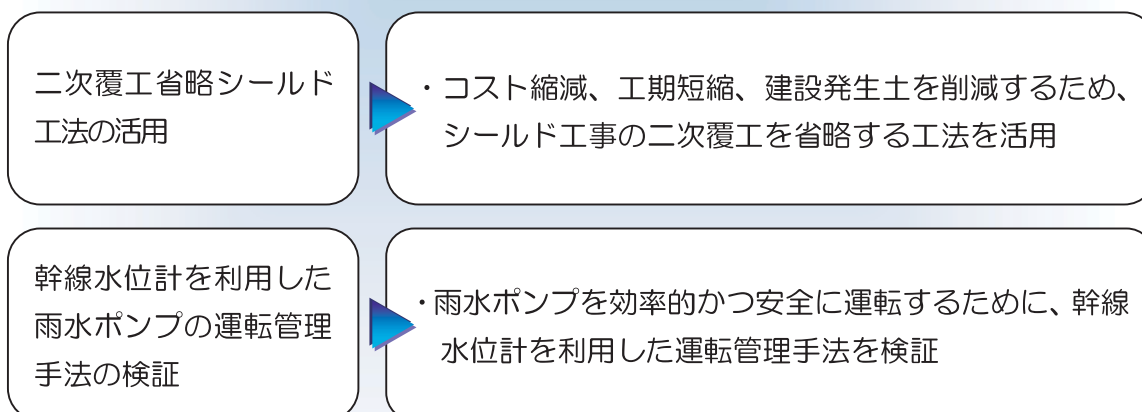
2 関係機関との連携

まちづくりの中で、雨水対策事業を効率的・効果的に推進する。



3 新技術の導入・活用

コスト縮減や事業の効率化を図り経営の安定化に努める。



4 「浸水対策強化月間」の推進

本格的な雨期前にお客さまへ浸水への備えをお知らせ

- ・ 6月を「浸水対策強化月間」と位置づけ、局一丸となってさまざまな取組を実施

図4-2 「浸水対策強化月間」の推進イメージ

